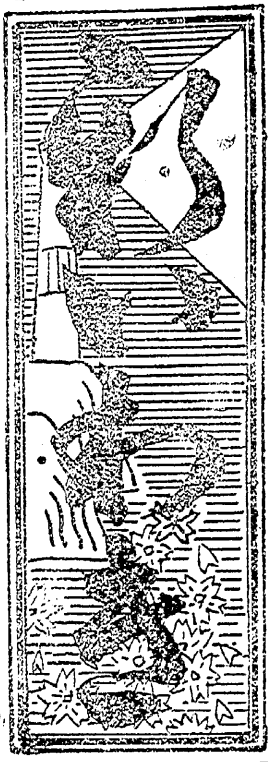


【刊夕】日四十二月十



鎌田橋いよいよ 架け替へに決定

工費五萬圓を計上して 面目一新のモダン橋に

中町鎌田町地内夏井川に架かる工費は約五萬圓の豫定
けられた鎌田橋は去る昭和
四年十月腐朽のため一部修
繕を行つたが、現在に至つ
てわたが同橋の橋脚は元來
木造であつたため腐
朽し易く殊に最近ではコン
クリート土臺までが毀損し
始めたので自動車、人馬の
交地上甚だ不安を感じ特に
同所は中四會館の乗合自動
車が間断なく往來し危険こ
の上もないので近く

煙草小賣人 組合長會議

一平出張所管内
地方專賣局平煙草販賣出張
所管内の平町ほか九ヶ町村
煙草小賣人組合では廿五日
午前九時から平町町煙草
官吏派出所樓上で組合長會
議を開き従來の組合制度を
經費節減を計る意味で之を
一ヶ所に廢合すべしとの上
局よりの指令に基き九ヶ町
定し目下土木監督所で設
計作製中であるが新橋は延
長百米、巾員四米八二全部
鐵筋コンクリートで面目一
新したモダン橋となる等定
である

郡内を荒した めぐり周旋業

平署で十一名を一齊檢舉
半署では最近郡下各地にも
めぐり周旋業が横行し被害頗
る甚大なるものがある旨郡人
周旋業組合よりの密告によ
りこれら悪周旋屋の一齊檢舉
を行つた結果左記十一名の
を目下周旋業違反として懲
重取調へ中である

求人開拓

白禪の應援隊を繰出し 平職業紹介所の大宣傳

職業紹介法實施十週年記念
の求人開拓デーは愈々明後
廿六日から廿八日まで三日
間に亘り全國一齊に舉行さ
して紹介所の普及宣傳並に

消防秋季檢閲

植田町消防秋季檢閲は廿
六日午前九時より同町小學
校庭に開演の筈であるが同
日は同組第一部の本春以來
自動車ポンプ設置に奔走せ
る功勞者及優良消防手十一
名の表彰式を行ふと

好問に強盜

犯人一物も得ず
逃走縛に就かず
平町に向ふ途中同村地内山
道にさしかつた處前方よ決
り突然年令卅歳前後強盜者
風の伴天をまとつた強盜に
襲はれ金を出せと強要され
たが山田が大膽を擧げて救
ひを求めたため賊は一物も
得ず逃走したと報ににより半
署から長澤警部補以下刑警
数名現場に臨檢し目下嚴重
犯人を捜索中であるが大休
目星がついたらしく一兩日
中には就縛の模様である

腕時計を強奪

自轉車泥棒の餘罪續々
郡下各所に亘り自轉車泥棒
を強奪し半町某自轉車店
と共謀して之を片づけしか
ら賣り飛ばしてゐた半町新
川町往來城鎮渡部西沼
村生れ大工中山安太郎(六)
は引つゞき半署で餘罪取調
べたところ去る八月廿九日
午後十二時ごろ半町鎌田町
遊廊の盆踊り見物の歸途同
町岡田牛乳店前の時やみに
差かつた友人三名連の中
柳柳町三三松田よし(二八)の
字中の作字折戸漁業吉田紋
クロム腕時計を強奪し逃
走した外数件の窃盜も働い
た(五)は十月廿日雙葉部請

明日の日曜と 江田の紅葉

警越東線小川郷川前間に
於ける江田の緑林は日頃
打撃く好秋日和に樹々漸
く黄ばんで觀賞の客を引
つけて来た、夏井川の清
流に一層の勝を誇る小瀧
では廿三日午後一時より急

短澤の岩を衝つて破れる
水が燃ゆるばかりの色を
添へて風なきに散る紅葉
點々の風情云ふばかりな
く嶺に跨り懸にかゝる青

好問に強盜

犯人一物も得ず
逃走縛に就かず
平町に向ふ途中同村地内山
道にさしかつた處前方よ決
り突然年令卅歳前後強盜者
風の伴天をまとつた強盜に
襲はれ金を出せと強要され
たが山田が大膽を擧げて救
ひを求めたため賊は一物も
得ず逃走したと報ににより半
署から長澤警部補以下刑警
数名現場に臨檢し目下嚴重
犯人を捜索中であるが大休
目星がついたらしく一兩日
中には就縛の模様である

あすのスポーツ

三縣聯合足球大會 平町
魁文堂主催、福島、茨城、
宮城三縣聯合の足球大會は
午前九時から警中A B C
トで行はれるが参加は何れ
も優秀な三縣精鋭四十組
ある

明日の日曜と 江田の紅葉

警越東線小川郷川前間に
於ける江田の緑林は日頃
打撃く好秋日和に樹々漸
く黄ばんで觀賞の客を引
つけて来た、夏井川の清
流に一層の勝を誇る小瀧
では廿三日午後一時より急

松点綴の美は錦の帳を布
けるが如き盛りとなつた
明日の日曜が好日和なら
相當の人数であらうと

通行の女から 腕時計を強奪

自轉車泥棒の餘罪續々
郡下各所に亘り自轉車泥棒
を強奪し半町某自轉車店
と共謀して之を片づけしか
ら賣り飛ばしてゐた半町新
川町往來城鎮渡部西沼
村生れ大工中山安太郎(六)
は引つゞき半署で餘罪取調
べたところ去る八月廿九日
午後十二時ごろ半町鎌田町
遊廊の盆踊り見物の歸途同
町岡田牛乳店前の時やみに
差かつた友人三名連の中
柳柳町三三松田よし(二八)の
字中の作字折戸漁業吉田紋
クロム腕時計を強奪し逃
走した外数件の窃盜も働い
た(五)は十月廿日雙葉部請

法廷通信

不服で控訴 とも勢農
黒石城支那山代吉宗の母を
毆打して半檢局に告訴さ
れた湯本町坂本徹(四〇)は半
地方裁判所から罰金四十圓
を言渡されたが不服で控訴
したと

増え れ口

薬屋と云ふ坊主と藥屋はより多くの
者となつて居るが、病氣は治癒代に不自由
のない病人であるならば死な
ず治らすべく長く臥床
して居る者が多ければ結構と
て人を殺してもゐるんだ
問題はな成るべく手ツ取る
ものゝ死を往來の間に書い

事に関する件
一、寄附採納の件
一、本年度同町歳入出退
加算算議決の件
濱通り五營林器 一、植
官行木炭品評會 一、田、浪
江、原町、中村の五營林器
官行木炭品評會は本月十九
日原の町に開催のはずであ
るが各署とも炭焼夫一人一
儀づゝの出品で目下各署で
一、澁川河川災害復舊工は炭焼夫督勵に忙かしいと

在滿兵慰問

植田町在郷軍八分會では郡
聯合分會の後援にて滿州守
備軍八慰問金募集の活動寫
真を開演せる處、時節柄非
常なる好評を博し純益金一
百圓を得て目下慰問方法に
つき協議中である

郡下種馬健診

郡畜産馬組合では左記日割
により本年度秋季種馬健診
康診断を行ふ事
川前(十一月四日から六
日まで)渡邊、警騎(十日)
上遠野(十一日から十三
日まで)入遠野(十四日か
ら十七日まで)

増え れ口

薬屋と云ふ坊主と藥屋はより多くの
者となつて居るが、病氣は治癒代に不自由
のない病人であるならば死な
ず治らすべく長く臥床
して居る者が多ければ結構と
て人を殺してもゐるんだ
問題はな成るべく手ツ取る
ものゝ死を往來の間に書い



稲の収穫 木名瀬所長 而もそれ等は稲を架にか けて干した後尚ほ更に稲扱 を爲したる後に於て再び其 の粉を産干に施したるもの であつて架懸け干によりて 仕上げたものでない様に思 はれる 勿論架干にしても充分乾 燥が出来なければ粉を産干 にしても乾燥の良好を期さ ねばならぬけれども熱力の 關係其他より考へれば天然 の許す限り架上で充分乾燥 したる方は産米の爲め宜し いのである斯る点より當所 方に於ける架干法を批判す る時は別稱を架に懸けて乾 すと云其の中だけは宜しい が其の内容の方法に缺點が ある故再度の産干の手續を 盡さねば良好の乾燥に至ら ぬと云はねばならぬ、然ら ば其缺點は何にかと云ふに 第一架に懸け乾す日数の足 らぬこと、第二稻把の太に 過ぐることに此の二つの缺點 あるが故に再度の手續を盡 さねば良好なる産米となら ぬのである、即ち目的は米 を乾かすにあるが故相當の 日数を要することは止むを 得ない夫れを架が相當に乾 けば良しとして架より稲を 取り入れる故に粉の中にあ る米は充分に乾燥を遂げな いのである

スペイン G.H.N元 詰 甘味葡萄酒 ゴルフポートワイン Y 1.10 御婦人の方には少し水を加へて 召し上ると風味一そう佳良です (平二)西村屋薬舗 (電三)

平町 市原醫院 淋病 梅毒 兒科 外科 田町 電話 一〇一四

平町 藤沼醫院 電話 七〇五番

西村屋薬舗 各種薬品 膏丹丸散

新 美味で安價で 新鮮な材料と おしまぬ原料 御家族の御同伴は 和洋小室にて 洋室大廣間にて

精々しい 食堂裝飾 日本間の新設備 一度お出で下されば皆様に御満足のお親みをおキツト頂け様と思ひます

磐城共済會 診察料 入院料 院長 醫學博士 石山謙治

朝日養素 健康長壽の源泉 友澤醫學博士の實驗推獎

アゲア 幾多の治療劑中超越として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ 肺病、肋膜炎、肺炎カタル等 定價(二圓、四圓、六圓)

學生服 一年生用 八十五錢 弊店特製 一圓卅五錢

開業院 醫學博士 難波陸 電話五〇二番

矢吹醫院 院長 矢吹大輔 電話二六六番